

# 庄小学校道徳だより

# ★つなぐ

No. 2

2016. 11. 17

## 「人と地域を生かした道徳教育講座」(10月25日)の開催

### 及び道徳授業公開(11月5日)～ご参観、ご協力ありがとうございました～

10月、11月と続いた道徳の授業公開でしたが、たくさんの方に出席、参観をしていただきました。お忙しい中をありがとうございました。

10月の研究発表会では、5年生は「本当の自由とは・・・」、3年生は「生き物を大切にすること」、2年生は「正直な心」をテーマに、それぞれの学級で、子どもたちが真剣に考え、話し合う姿が見られました。

5年生の授業には、保護者の方々に参加していただき、子どもたちと一緒に考えた後、自由について子どもたちの気づかない視点から話していただくことができました。また、3年生の授業では、ゲストティーチャーに、山中町にある内水面試験場の内所長さんから専門家の立場で、生き物を大切にすることの意味を話していただきました。

また、11月の授業公開では、もちつき大会の準備などでお忙しい中を、たくさんの方にご参観いただきました。

今年度も家庭や地域の教育力を生かした取り組みができたことを、職員一同、喜んでおります。ありがとうございました。

今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 「人と地域を生かした道徳教育講座」(10月25日)より

### 参観された皆さんからの感想

#### 2年「才田のわんかきつね」

☆うそをついたりごまかしたりしないで正直で、明るい気持ちで生活しようとする。

家に帰ってきた子どもと、「正直」ということについて話し合ってみました。辞書で意味を一緒に確認しました。「うそをつかない。」ということは時には勇気のいることもあり、大人でもためらうこともあるけれど「信用」ということが人間関係においては大切だと思います。心を整える道徳の授業は、子どもにとっても親としても大変有意義な時間になりました。



きつねさん。おわんにひびを入れてしまってごめんなさい。

#### 3年「ホクリクサンショウウオ」

☆自然のかけがえのなさに気づき、生き物を大切にしようとする。

ゲストティーチャーに自然環境の現状や専門的な話を聞くことで、子どもたちの考えが深まっていたと思います。地域の特色を生かしたり、話を聞いたりすることはとても大切なことだと改めて感じました。



## 5年「うばわれた自由」

☆本当の自由について話しあい、自由を大切にするために、自律的で責任のある行動をしようとする気持ちをもつことができるようにする。

親たちのグループで話し合っただけで出た意見と同じものが子どもたちだけで話し合った中からも出てきていたことに驚きました。5年生という年齢では親が思う以上にしっかりした考えができていたなと感心しました。

考え、判断し、行動すること。自由ってすごく難しいと思いました。この授業で、子どもの行動が少しでも変わってくれるといいなあと思いました。自分も少し変わらなければいけないかなとも思った。



## 道徳授業公開(11月5日)より

### 1年「ささずしづくり」

家族といっしょにささずしを作った女の子のお話を読んで家族のために自分ができることを考えた後、家族からのお手紙を読みました。



おかあさんから、おてがみで「おながしよくてつだってくれるね！！」ってかいてあったから、じぶんも「ほかのおてつだいしよう！」とおもいました。

### 4年「じゅんぴをするのは」

人に頼らずに、自分のことは自分で行おうとする態度について考えました。



これからは、自分のできることがあれば、お母さんにかぎらず進んでいきたいと思っています。

## 授業のふり返りや参観の方からの感想

### 6年「大切なハンカチ」

主人公が感じた幸せを考えることで、人としてより良く生きようとする気持ちをもつことができるように…。

今日は、いろんな幸せを考えるのが難しかった。やりたいことを考える幸せと人のために動く幸せがあることが分かった。



授業の始まりと終わりでは、子どもたちの幸せに対する考え方（感じ方）が変化していったように思われました。その変化を目にすることができてよかったです。一人一人が何に対しても考え、感じることでできる人間になっていけばとても素晴らしいと思いました。（保護者の方から）

### すこやか「ブツラドレーのせいきゆう書」

家族の深い愛情を感じ、家族の一員として自分には何が出来るかを考えました。



お手伝いしているよ。でも、自分の好きなことだったかも。次は、家族のことも考えてしよう。